

## L P ガス C P 情報(2016年6月積み)

### 1. 6月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 330<sup>ドル</sup> (前月比+ 5<sup>ドル</sup>)

ブタン 365<sup>ドル</sup> (前月比- 15<sup>ドル</sup>)

#### ① LPガススポット市況

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が急騰する中、LPガススポット市況は堅調に推移した。前半は連休もあり市場は閑散、不需求期でプロパン、ブタンともに需給は緩和傾向。CP先物は6月限が330<sup>ドル</sup>、ブタン360<sup>ドル</sup>どころで推移、フレート市況は強含んだが、極東CFR市況は第4週プロパン345<sup>ドル</sup>、ブタン380<sup>ドル</sup>どころのディスカウント市況となっていた。ナフサは原油市況に連れ続伸、月間平均では416<sup>ドル</sup>、前月比24<sup>ドル</sup>の上昇となったが、石化のブタン需要は限定的。バンカーオイルは、原油市況急騰の影響を受け、月間平均では217<sup>ドル</sup>、前月比34<sup>ドル</sup>の大幅続伸。一方、米モンベルビュープロパンスポット価格は、需要期終了で全米プロパン在庫が増加したものの原油市況の急騰を受けて続伸し、第3週末はプロパン272<sup>ドル</sup>と初旬から20<sup>ドル</sup>どころ上げている。

6月CPは前年同月比プロパン、ブタン75<sup>ドル</sup>のそれぞれ下落。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン10ポイント、ブタン18ポイント下落、前年同月比プロパン15ポイント、18ポイント高い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	29	29	32	31	30
CP先物指標：P	300	340	330	330	325
CP先物指標：B	330	370	360	360	355

#### ② 原油市況等

WTIは5月44<sup>ドル</sup>台でスタート、26日には一時、昨年10月以来の50<sup>ドル</sup>台を回復した。米国原油在庫は1930年来の記録的高水準に達しているが、石油掘削リグ稼働数が減少、米国内原油生産量は減産が続き2014年9月以来の880万バレル割れとなり供給超過解消への期待が高まった。また、カナダアルバータ州の森林火災はオイルサンド生産地のフォートマクマレーまで拡大、一部生産停止に追い込まれた他、ナイジェリアの武装組織の攻撃によるパイプラインの閉鎖やリビア内戦による生産減少など供給障害も影響、ゴールマンサックスはWTIの見込みを50<sup>ドル</sup>に引き上げた。一方、NYMEXのWTI総取組高は27日時点で169万枚、前月末比4万枚の減少。大口投機玉の買越残高は24日で34.8万枚と前月比1.4万枚の増加、買い建玉以上に売建玉が手仕舞われ減少。

○5月積みアラビアン・ライト(5月1~27日)は43.26<sup>ドル</sup>(前月比+4.78<sup>ドル</sup>)

熱量等価AL100% プロパン354.70<sup>ドル/トン</sup> ブタン349.84<sup>ドル/トン</sup>

AL比 プロパン93.04% ブタン104.33%

\*上記アラビアン・ライトはE I N推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

### 2. 2016年6月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	110.20	36,100	41,000	+100	+200
26~25日②	110.13	36,100	41,000	+200	+400
1~30日③	110.02	36,000	41,000	+200	+500

\*TTS平均は①が4月21日~5月20日まで、②は4月26日~5月25日、③は5月1~30日、①、②、③ともに6月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、4月28日は日銀の追加金融緩和の見送りにより急激な円高となり、TTSは午前112.75円/ドルから午後110.75円/ドルに修正された。上記TTS平均は修正後の110.75円/ドルを採用している。(詳細はWEBサイトのLPガス価格推移表等を参照)。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、税制、価格制度変更や為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意下さい。